



① 郷土芸能白糠駒踊り。保存会のメンバーが躍動感あふれる踊りで、会場を盛り上げました。② 灯台ツブやホタテなどの魚介類をはじめ、鹿肉まんやクレープなど、会場にはたくさんの露店が立ち並び、長蛇の列ができていました。③ ヨーヨー釣りや「ふわふわエア―遊具」など、小さなお子さんたちも楽しんでいました。

港 in 白糠

大漁まつり

6月25日「港in白糠大漁まつり」（同実行委員会、白糠ふるさと振興協会主催）が白糠漁協特設会場で開かれました。

白糠漁協青年部が中心となって開催されている町の一大イベントの一つで、今年は4年ぶり27回目の開催。天候にも恵まれ旬の海産物や屋台料理などを求める多くの人たちでにぎわいました。

会場では、白糠漁協がマスコケやタラなどを販売し、人気を集めたほか、同漁協女性部のカレー、白糠酪恵舎のハイジパン、驚きの森のブルーベリースムージーなども盛況でした。

ステージでは、原口あきまささんのものまねショ―やホッキカレーの早食い、鍛高ラムネの早飲み大会、海産物などが当たるビンゴゲーム、大漁を祈願した餅まきが行われ、町内外から訪れた大勢の人たちが楽しんでいました。



④・⑤ 原口あきまささんが明石家さんまさんなどのものまねで、おおいに笑わせました。⑥ 船の汽笛のマネで原口さんと一緒に会場を沸かせた石川蓮太郎君（釧路市在住）。⑦ 原口さんのステージを見に来た来場者。⑧ ホッキカレーの早食い選手権。⑨ 鍛高ラムネ早飲み選手権。⑩ ビンゴゲームでは540個の景品が用意。⑪ 景品を手渡しする原口さん。⑫ まつりの最後には大漁祈願の餅まきが行われました。